

日本学会議主催学術フォーラム  
未来の学術振興構想の実現に向けて

# 「未来の学術振興構想」を政策の観点 から考える

2024年10月4日

順天堂大学

菱山 豊

# 日本学術会議との関わり

2001年1月文部科学省生命倫理・安全対策室長

2003年7月政策研究大学院大学教授

**2005年7月日本学術会議参事官**

2007年1月文部科学省ライフサイエンス課長

.....

2013年10内閣官房健康・医療戦略室次長

2015年4月日本医療研究開発機構執行役

2017年同機構理事

2019年7月文部科学省科学技術・学術政策局長

2020年10月科学技術・学術政策研究所長

文部科学省退官

2021年10月徳島大学副学長 等

2024年4月順天堂大学特任教授 等

- 黒川清会長、金澤一郎会長
- 初代参事官（審議第二担当）
- 予算が足りない、人材がいない。
- サイエンスカフェの全国展開
- 「科学者の行動規範」の策定
- 「イノベーション25」への参画

# 日本学術会議と学術の役割

- 「アカデミアの独立」や「アカデミアへの敬意」は民主的な先進国の前提条件。
- 日本学術会議は、世界トップの研究を行い、かつ、俯瞰的に見られる「学者」が集まっている。だからこそ、「未来の学術振興構想」をまとめられた。
- 日本学術会議は、学問の重要性、有用性を発信し、国民に理解をしてもらうことが使命の一つではないか。
- 現代社会において、研究の資金源の多くは国の予算(=国民が支払う税金)であることを認識した戦略が必要ではないか。

# 未来の学術振興構想について 1

- 誰に向けての提言か？
- 国民の理解をどう得るかの提言が不足しているのではないか？
- 国民、あるいは人類にどのような良いことがあるのか？
- 課題解決型が多く見られる。→学術の振興のみならず、学術の応用になるのでは？
- 実現にはアカデミア以外の幅広いステークホルダーとの協力が必要ではないか？（⑬にはそのような観点がある。）
- 日本の研究力が低下しているためか、「国内外の学術研究の状況・動向」で、米国、中国、欧州に比べて遅れているという説明が見られる。また、我が国の強みを強調している説明もある。

# 未来の学術振興構想について 2

- 理系の学問と文系の学問の統合知も必要ではないか？例えば、「⑤ 生命現象の包括的理解による真のWell-beingの創出」において、幸福やWell-beingの哲学的検討、あるいは、幸福寿命が延伸し、真のwell-beingの社会が実現した場合の社会保障制度の検討なども考えるべきではないか？
- なお、「⑧ 超スマート社会における人の能力拡張とAIとの共生」と「⑨ サイバー空間の構築・活用による価値創造」では制度面の研究も必要と書いている。
- サステイナブルな経済、際限なき欲望の制御などの人文学・社会科学の観点もあると良いのではないか。

# 未来の学術振興構想について 3

- 「「グランドビジョン」を推進することによって得られる自然や人間における真理や事実に関する知と、その追究と応用によって実現される成果が、地球や人類社会にもたらす貢献は極めて大きい。」これが重要ではないか。
- 19の「グランドビジョン」をつなぐストーリーがあると良いのではないか。